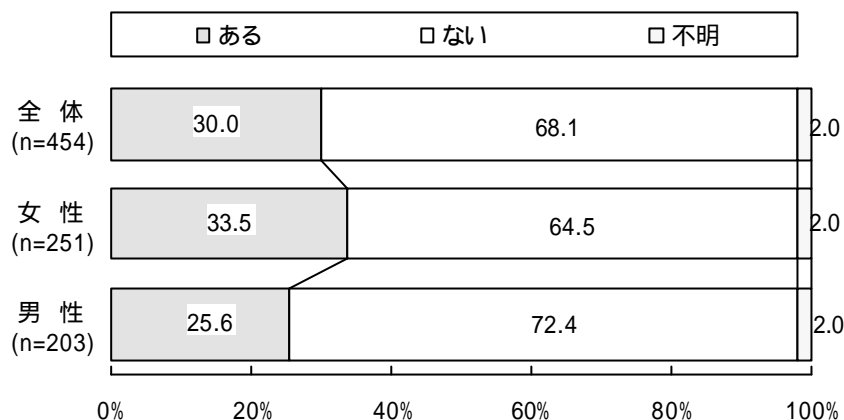


(4) 高齢社会について

高齢者の介護の有無

問 8 あなたは高齢者の介護を現在していますか、または、したことがありますか。

図 4 - 1 介護の経験の有無



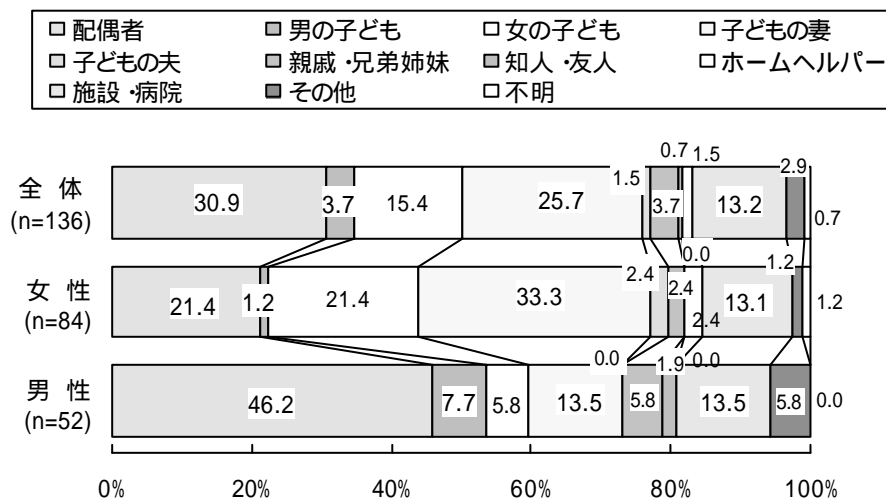
高齢者の介護経験は女性が若干高い割合である

高齢者の介護の経験の有無を「全体」でみると、「ある」は30.0%、「ない」は68.1%である。これを性別でみると、「ある」の割合が女性の方が約8ポイント高くなっている。

主に介護をしている人

問 8 - 1 その方の介護は主に誰がしていますか、または、していましたか。

図 4 - 3 主に介護をしている人



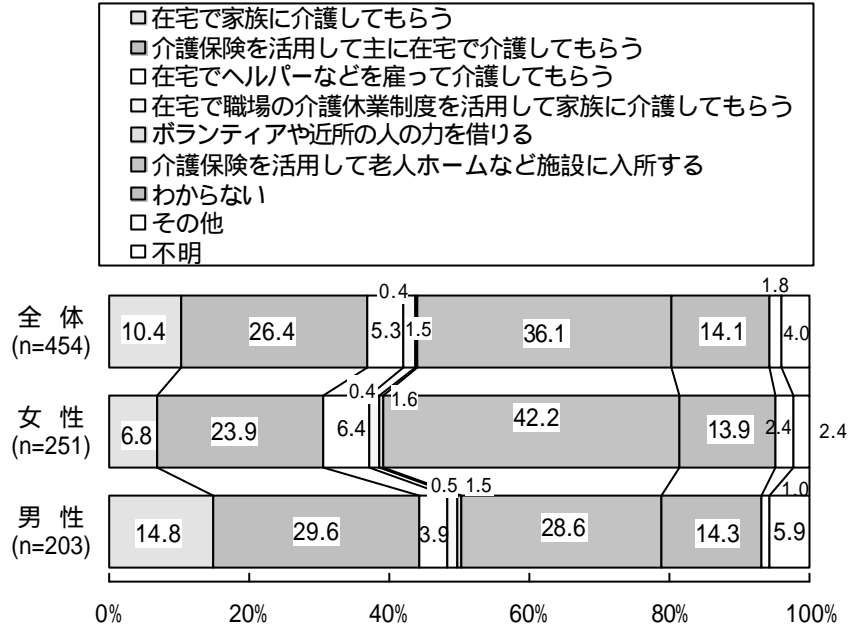
主に介護をしているのは、女性では「子どもの妻」、男性では「配偶者」

主に介護をしている人を「全体」でみると、「配偶者」(30.9%)が最も高く、ついで「子どもの妻」(25.7%)、「女の子ども」(15.4%)、「施設・病院」(13.2%)となっている。「女の子ども」と「子どもの妻」を合わせると41.1%である。

どのように介護をしてもらいたいか

問 9 あなたが介護を必要とするようになった時、どうしたいと思われませんか。

図 4 - 4 どのように介護をしてもらいたいか



女性では「施設希望」、男性では「在宅希望」が高い割合

どのように介護をしてもらいたいかを「全体」で見ると、「介護保険を活用して老人ホームなど施設に入所する」(36.1%)が最も高く、「介護保険を活用して主に在宅で介護してもらう」(26.4%)、「在宅で家族に介護してもらう」(10.4%)と続く。施設入所希望(「介護保険を活用して老人ホームなど施設に入所する」をいう。)と在宅希望(「在宅で家族に介護してもらう」+「介護保険を活用して主に在宅で介護してもらう」+「在宅でヘルパーなどを雇って介護してもらう」+「在宅で職場の介護休業制度を活用して家族に介護してもらう」をいう。)とがほぼ同率である。「わからない」が14.1%となっている。

「性別」で見ると、女性では「介護保険を活用して老人ホームなど施設に入所する」(42.2%)が最も高く、ついで「介護保険を活用して主に在宅で介護してもらう」(23.9%)である。

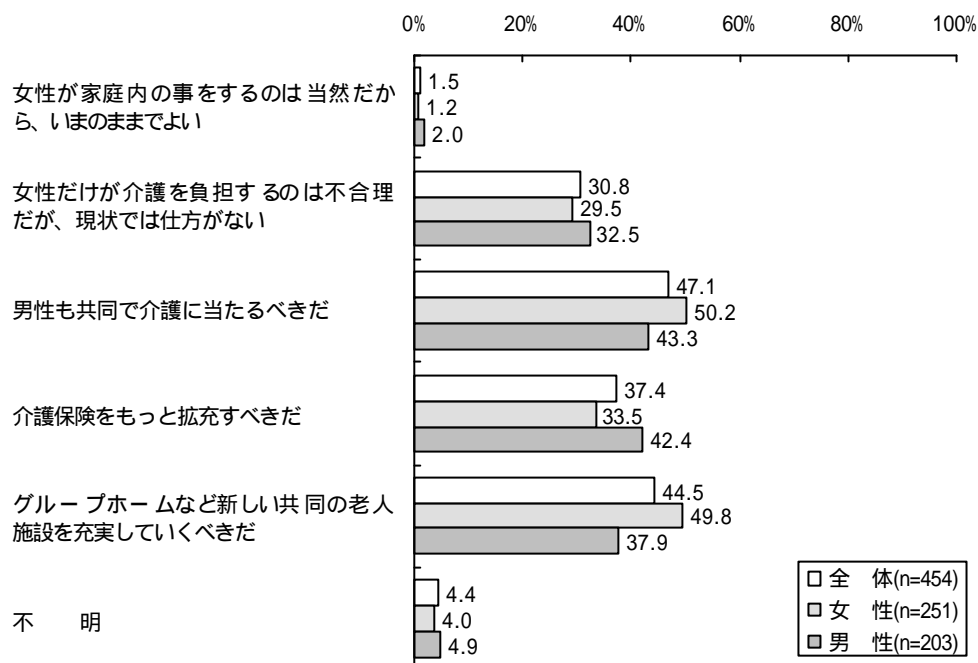
男性では、「介護保険を活用して主に在宅で介護してもらう」(29.6%)と「介護保険を活用して老人ホームなど施設に入所する」(28.6%)が拮抗している。

施設入所希望と在宅希望を比較すると、女性では、施設介護の希望が、男性では、在宅介護の希望が最も多い。

4 高齢者の介護を女性が担っていることについて

問10 高齢者の介護は、介護保険制度はできたものの、まだまだ女性が担っているとされます。これについて、あなたはどのように思われますか。

図4-6 高齢者の介護を女性が担っていることについての考え方



「男性も共同で介護に当たる」が47.1%

高齢者の介護を女性が担っている状況を「全体」で見ると、「男性も共同で介護に当たるべきだ」が47.1%で最も高くなっている。ついで、「グループホームなど新しい共同の老人施設を充実していくべきだ」が44.5%、「介護保険をもっと拡充すべきだ」が37.4%と続く。

「女性が家庭内の事をするのは当然だから、いまのままでよい」とする割合は1.5%ときわめて低いものの、「女性だけが介護を負担するのは不合理だが、現状では仕方がない」(30.8%)を合わせると32.3%である。

性別で見ると、「グループホームなど新しい共同の老人施設を充実していくべきだ」(女性49.8%・男性37.9%)において、女性の割合が男性のそれを12ポイント上回っているものの、他の項目では大差はない。